

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

放置山林や竹林、田畑の荒廃は目に余るものがある。地球温暖化が指摘され、異常気象による自然災害も多発している。これら自然環境の悪化は、今以上に進ませてはいけない。未来に向けて豊かな自然を残す重要性がますます高くなっています。人工林・竹林・里山と人手を必要としている森は多いですが、自然環境の必要性を認識し活動する人材はまだ少ないです。

数十年先を見越した「森作り」というテーマのための人材育成も必要になっています。林道に接する場所は、森林組合やボランティアの人手が入っています。本当に人手の必要な森林は、目の届かない山奥です。“人工林の間伐施業”をしながら、“森林づくりの施業基礎研修会”を開催することで多くの人材育成をめざします。また、子供たちが自由に遊びまわれる里山や竹林の再生は、幼い頃から自然環境の大切さを認識させるのに役立ちます。家族や親子が自然と親しみ、憩いの場となる森作りのお手伝いをします。

会の活動方針を明確にし、短期・中期・長期計画をもってメリハリのある活動を進め。多くの森林ボランティアグループの指標になるグループを目指します。

2 申請に至るまでの経過

多くの仲間と鈴鹿森林組合“休日請負間伐”、KOA島崎森林塾全コース参加、鈴鹿森林組合アルバイトなどを経験しながら県主催の林業研修会を4年間受講し、森林ボランティア活動(グリーンボランティア「森林づくり三重」にて事務局・フィールド代表を経験)をしてきました。しかし、安全作業の推進、計画性のある森林施業、初級研修会など目標を明確に持つての活動に至っていません。お互い協力し、技術向上及び知識アップの必要性を感じていました。

計画性があり、長期間にわたる活動には、保険金・交通費・研修会などの必要経費を無視できません。また、森林施業地を求める場合に法人化することで契約主にも安心感を与えます。

今回、共に活動し同じ目的を持ったメンバーを得たことで申請することにしました。

2005年 6月 30日

特定非営利活動法人森林の風

設立代表者

住所

氏名 奥田 義巳

備考 「氏名」の欄には、署名又は記名押印をしてください。

(規格A4)